海道南部ニハ ひのきあすなろダケ產スル様ニ記述シテ居ラレル。筆者ガ秋田縣北秋田郡大葛村ニ採集セルモノハ、毬果ハ日本有用樹木分類學及ビ日本植物總覽ノひのきあすなろノ記相文ニ符合シ、牧野富太郎博士ニ鑑定ヲ御願ヒ申シ上ゲタトコロひのきあすなろデアツタ。

栃木師範ノ關本平八氏ニ御依頼シテあすなろノ正品ヲ得テ、兩者ヲ比較シテ見タトコロ毬果ハ恰モ別種ノ如キ感アリ、或人ハ獨立種ト考ヘタノモ無理モナイ様ニ思ハレタ。兩者ノ毬果ノ圖ハ吾々採集家ニハ 一寸見當ラナイカラ、玆ニ出シテ 頂クコトトスル。圖ノあすなろ (A. a.) ハ、關本氏ガ昭和 11 年 6 月 16 日栃木縣芳賀郡小貝村ニテ採集セルモノニ依リ、ひのきあすなろ (B. b) ハ、筆者ガ昭和 9 年 6 月 24 日ニ秋田縣北秋田郡大葛村ニテ 得タルモノニ依ル。

最後ニ御教示ヲ賜ハリマシタ牧野博士、あすなろノ標本ヲ送ラレタル關本氏ニ厚ク御禮ヲ申上ゲル。 (松田孫治)

○ぎんりやうさうトこぎんりやうさうノ發生ノ時期

ぎんりやうさう (*Monotropa uniflora* L.) トこぎんりやうさう (*M. Morisoniana* MICHX.) トハ、前者ハ 5 花瓣デ後者ハ 3 花瓣デアル點ヨリシテ容易ニ區別サレルガ、又發生ノ時期ヲ比較シテ見ルニ、こぎんりやうさうハ初夏 (6月頃) ニ發生シテ 8月頃ニハ既ニ果實ヲ上ニ向ケテキルガ、ぎんりやうさうノ方ハ 8 月中旬頃ニ發生スル様デアル。然リトスレバコノ點ヨリシテモ兩者ヲ區別スルコトガ可能デアル。 (松田孫治)

○いはたけ科地衣ノ分類體系

世人ニハアマリ緣ノ無イ地衣類ノ中デモいはたけノ類ハ比較的ニ有名デ、植物採集家デナクトモ、高山ニ登ツテ岩壁ニ着生シテキルアノ眞黑ナ奇妙ナ地衣ヲ見タ人ハ、コレガいはたけト云フ食用ニナル珍物デアルカト深ク印象ヅケラレタコトト思フ。サテ コノいはたけ ノ種類ハドウセ大シタコトハナイダラウト思フト 大變ナ間違ヒデ、既ニ 數十種類モ記載サレテキテ、ソノ分類ノ様式モ色々ト問題ニナツテキル。最近 E. FREY ト P. F. SCHOLANDER トガ相前後シテ從來ノいはたけ科地衣ノ分類體系ヲ全ク變ヘテ了ツタ。コノ兩者ノ 說ハ全ク出發點ヲ異ニシ、從ツテ結論モ全ク 類似性ノナイモノデアル。筆者ハ日本產ノ いはたけ科地衣ヲ記述スル際ニコノ兩者ノ何レヲトルカ、或ハ從來ノ體系ニ從フカ、又ハ獨自ノ新シイ體系ニヨルカ、何レニシテモ態度ヲハツキリ決定シナケレバナラナクナツタノデ、少シク先人ノ業績ヲ 檢討シテ見タトコロ、ドウモソノ何レニモ 贊成シカネルノデ、從來ノ體系ニ多少手ヲ入レテ一ツノ新シイ體系ヲ編出シタ次第デアル。

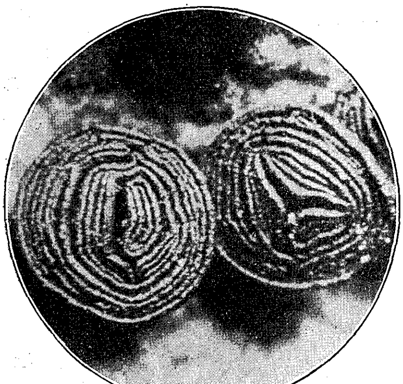
此處デハ先ヅ前人ノ業績ヲ批判シ、次ニ新體系ヲ披露スルコトニシタイ。

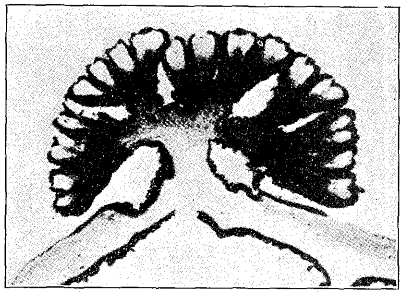
1. Acharius ノ分類法

地衣命名學ノ開祖 ACHARIUS ノ最初ノ體系[1]ニ依ルト、「體ハ葉狀デ堅ク軟骨様、裏面ノ

1) ACHARIUS, ER.: Försock till en förbättrada Lafvarnes indelning (Dianoe Lichenum), in Nov. Act. Reg. Acad. Sci. Suec. Holmiae XV, p. 244(1794).

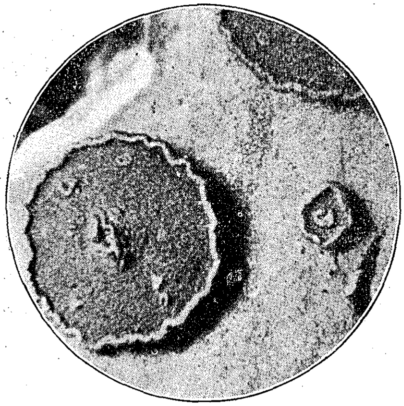
臍狀物ニヨツテ基物ニ栖狀ニ着生シ、子器ハ葉體上ニ散生シ、盤ハ渦卷狀ヲ呈スル」様ナ地衣類ノ一群ノタメニ *Umbilicaria* ト云フ屬ヲ設ケ、例トシテ *U. polyphylla, U. pustulata, U. vellea* 等ヲ擧ゲテキル。コノ屬名ノ語源ハ臍ヲ意味スルギリシヤ語デアルガ、Acharius

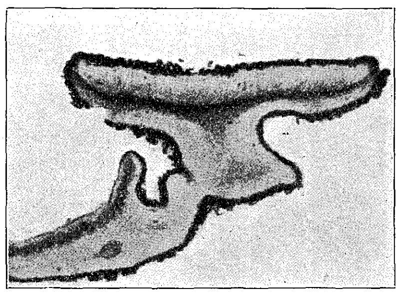




第 1 圖 左ハたかねこげのり (*Gyrophora cylindrica* Ach.) ノ渦卷狀 隆起シタ子器 (×20). 右ハたかねいはたけ (*G. vellea* Ach.) ノ子器縦斷檢鏡圖 (×25)。(Scholander ノ論文ヨリ轉寫)

ガ始メテ作ツタモノデハナク、既ニ多數ノ學者ニヨツテ使ハレテキル。タヾ Acharius ガ最モ正シク屬名トシテ用ヒタダケノコトデ、Acharius ヲコノ屬ノ創始者トスルニハ若干ノ疑問ガアル。然シソノ文獻學的考證ハ他日ニ讓ルコトニシテ、兎ニ角、今日我々ガいはたけノ類トシテキルモノハスベテタヾ一ツノ *Umbilicaria* 屬ニ包含サレタワケデアル。





第 2 圖 左ハ *Umbilicaria virginis* Schaer. ノ子器 (×20), 渦卷狀ノ隆起ガナク、所々ニ不規則ナ割目ガアル。右ハ *U. dichroa* Nyl. ノ子器縦斷檢鏡圖 (×25)。(Scholander ノ論文ヨリ轉寫)

Acharius ハ後ニナツテ[2] 臍ヲ意味スル *Umbilicaria* 屬ヲ嫌ツテ捨テヽ了ヒ、子器ガ渦卷狀ヲナス特徴ヲ重視シテ、「渦ヲ生ズル」ト云フ意味ノギリシヤ語カラ *Gyrophora* ト云フ屬名ヲ作リ、「地衣體ハ裏面ノ臍狀物ニヨツテ基物ヲ着生シ、子器ノ盤ハ渦卷狀ヲ呈スル」

2) Acharius, Er.: Methodus Lichenum (Stockholm, 1803).

モノヲ含メ、例トシテ *G. glabra, G. erosa, G. arctica* 等ヲ擧ゲ、臍狀物ニヨツテ基物ニ着生シテハキルガ子器ノ盤ガ渦卷狀ヲ呈シナイモノヲ全クカケ離レタ痂狀地衣ノへりとりごけ屬（*Lecidea* Ach.）ニ入レ、特ニ *Omphalaria* ト云フ節ヲ作ツテキル。サキニハ *Umbilicaria* 屬ノ代表者ノヨウニサレテキタ *U. pustulata* ヤ *U. pennsylvanica* ハ夫々 *Lecidea pustulata* 及ビ *Lecidea pennsylvanica* トナツテ痂狀地衣ノ仲間ニ入レラレタ。コノ様式ハ一見甚ダ無茶ナ様デハアルガ、子器ノ內部構造ノ類似カラ云ヘバ相當ニ首肯スベキ點モアリ、寧ロ十九世紀ノ始メニ其處マデ突込ンダ見方ヲシタ Acharius ノ烱眼ニ敬意ヲ表スベキデアラウ。然シ何ト云ツテモ、コノ典型的ナ痂狀地衣ノ群ニいはたけ類ノヨウナ高度ニ分化シタ葉狀地衣ヲ含メルコトハ妥當デハアルマイ。

Acharius モ第二回目ノ様式ガ矢張リ無理ナコトニ氣ガツイタト見エテ、後ニナツテ前説ヲ改メ、[3] へりとりごけ屬ニタヽキ込ンダモノヲ拾ヒ上ゲ、子器ノ盤ガ渦卷狀ヲ呈シナイモノデモスベテ *Gyrophora* 屬ニ入レテ渦卷狀ヲ呈スルモノト同様ニ取扱ツタ。

要スルニ Acharius ハいはたけ類ノ地衣ヲ分類スルニ當ツテ臍狀物ノ存在ト子器ノ盤ガ渦卷狀ヲ呈シ又ハ平滑デアルコト等ヲ知ツタガ、ソノ胞子ノ形質ニツイテハ一言モ觸レテキナイ。ソシテいはたけ類ノタメニ最初ハ *Umbilicaria* ト云フ屬ヲ用ヒ、後ニハコレヲ廢シテ *Gyrophora* ヲ用ヒタノデアツテ、結局ハタヾ一ツノ屬ノ中ニ含メタワケデアル。

2. Fée ノ分類法

Acharius 以後ハ相當長イ間大シタ變遷ハナカツタガ、佛國ノ地衣學者 Fée ニヨツテ新シイ様式[4] ガ提唱サレタ。彼ハ地衣類ヲイクツカノ科ノヤウナモノニ大別シソノ中ニ屬ヲ配列シテキルガ、ソノ第十二番目ニ "Umbilicariées" ト云フノガアツテ、ソノ中ニハ *Umbilicaria* Pers. ト *Gyrophora* Fée トガアル。前者ノ例トシテハ *U. pustulata* Hoffm. ヲ、後者ノ例トシテハ *G. cylindrica* Ach. ヲ擧ゲ、所謂いはたけノ類ノ中デ渦狀ヲ呈スル子器ヲ有スルモノヲ *Gyrophora* トシ、子器ガ渦卷狀ヲ呈シナイモノヲ *Umbilicaria* ニマトメタノデアル。コノ分類法ハ中々ヨイ方法デ多クノ人ニヨツテ襲用サレテキルガ、タヾ外形ダケヲ問題ニシテキテ、胞子ノ形質ニ言及シナカツタノハ殘念デアル。

Fée ガ *Umbilicaria* 屬ノ創始者ヲ Ach. ニシナイデ Pers. ニシ、*Gyrophora* ノソレヲ Ach. ニセズニ Fée ニシタアタリハ中々面白イコトデアル。

3. Zahlbruckner ノ分類法

近代ニ於テ最モ多クノ人ノ贊成ヲ得テキル Zahlbruckner ノ分類法[5] ヲ見ルト、いはたけノ類ハ Gyrophoraceae 即チいはたけ科ノ中ニ含マレル。ソシテコノ科ニハ四ツノ屬ガアリ、最始ノ二ツノ屬ハ夫々二ツノ節ニ區分サレテキル。今檢索表デ其等ノ屬ト節トヲ示セバ次ノ様ニナル。

3) Acharius. Er.: Synopsis Methodica Lichenum (Lund, 1814).

4) Fée, A. L. A.: Essai sur les Cryptogames des écorces exotique officinales (Paris, 1824)

5) Zahlbruckner, A.: Lichenes, in Engler-Prantl: Natürl. Pflanz.-Fam., ed 2, VIII (Leipzig, 1926).

A. 胞子ハ單室デ小形、子囊中ニ 8 個ヅヽ生ズル。…………*Gyrophora* ACH.

a. 子器ノ盤ハ渦卷狀ヲ呈スル。…………Sect. *Eugyrophora* ZAHLBR.

b. 子器ノ盤ハ渦卷狀ヲ呈シナイ。…………Sect. *Agyrophora* NYL.

B. 胞子ハ石垣狀多室、子囊中ニ 1〜8 個ヅヽ生ズル。……*Umbilicaria* ACH.

a. 子器ノ盤ハ渦卷狀ヲ呈シナイ。子囊ハ 1〜2 個ノ胞子ヲ生ズル。…………Sect. *Lasallia* ENDL.

b. 子器ノ盤ハ渦卷狀ヲ呈スル。子囊ハ 8 個ノ胞子ヲ生ズル。…………Sect. *Gyrophoropsis* ZAHLBR.

C. 胞子ハ 2 室。

a. 胞子ハ無色。…………*Charcotia* HUE.

b. 胞子ハ褐色。…………*Dermatiscum* NYL.

サテ以上ノ中デ *Charcotia* 屬ト *Dermatiscum* 屬トハ各々 1〜2 種ヨリナル特別ノモノデ分布モ限ラレタモノダカラ問題ニシナイデ、專ラ *Gyrophora* 屬ト *Umbilicaria* 屬トヲ檢討スルコトニシヨウ。

コノ ZAHLBRUCKNER ノ分類法ハ一見シタトコロ FÉE ノ樣式ト全ク同樣デアルガ、ソノ考へ方ハ全ク異ルモノデアル。FÉE ハタヾ子器ノ外觀カラ區別シタニ過ギナイガ、ZAHLBRUCKNER ハ胞子ノ形質ヲ最モ重要視シテコノ分類法ヲタテタノデアツテ、マヅ胞子ノ形質ニヨツテ屬ガ區別サレ、次ニ子器ノ構造ニヨツテ節ヲ分ケテキル。コノ方法ハ他ノ地衣類一般ノ分類ニ廣ク適用サレテキル常道デ、マヅ最モ無難ナモノデ、長イ間採用サレテキタモノデアル。筆者モ亦最近マデ無條件デコレニ從ツテ日本產ノいはたけノ類ヲ記述シテキタノデ、FREY 及ビ SCHOLANDER ノ研究ニヨリコノ樣式ガ變更サレタ現在デモナホコノ樣式ニハ相當ニ强イ未練ヲ感ジテキル者デアル。

4. Scholander ノ分類法

年代カラ云フト SCHOLANDER ノ說ヨリモ FREY ノ說ノ方ガ先キニ出テキルガ、記述ノ都合上少シ前後スルコトニスル。

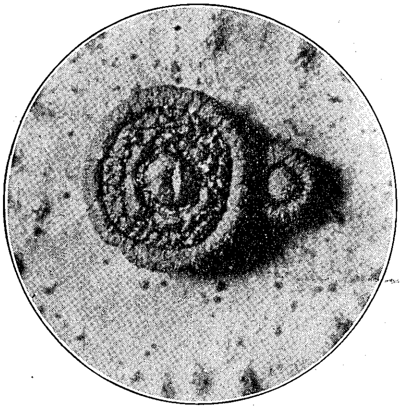
FREY ノ研究ニヨツテいはたけ科ノ分類樣式ガグラツキ始メタ時ニ北歐 Finland ノ地衣學者 SCHOLANDER ハ豐富ナ材料ヲ手ニシテ、いはたけ科地衣ノ子器ノ構造ヲ熱心ニ研究シ、遂ニ非常ニ重要ナ幾多ノ特徵ヲ發見シソノ歸結トシテ一ツノ新樣式[6] ヲ發表シテキル。

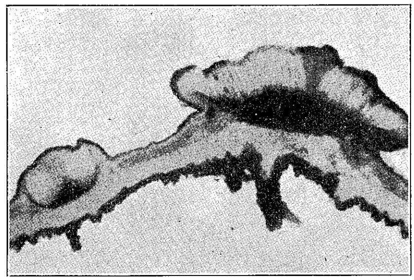
彼ハいはたけ科地衣ノ子器ヲソノ構造カラ四ツノ型ニ區別シ、ソノ各々ノ型ヲ唯一無二ノ屬ノ區分點トシテ四ツノ屬ニ分類シテキルノデアル。

a. *Umbilicaria* (HOFFM.) emend. SCHOL. ＝コノ屬ノ地衣ノ子器ノ盤ハ平滑デ、時ニ二次的ニ多少割目ヲ生ズル。コノ屬ニハ *U. pustulata*, *U. pennsylvanica* ヲ始メトシヲ從來ノ *Umbilicaria* 屬ニ含マレタ大部分ノモノガソノマヽ殘ルコトニナル。

b. *Omphalodiscus* SCHOL. ＝コノ屬ノ地衣ノ子器ノ盤ハ渦卷狀ハ呈シナイガ多少不規

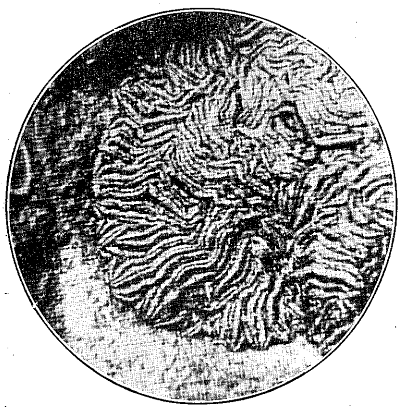
6) SCHOLANDER, P. F.: On the Apothecia in the Lichen Family Umbilicariaceae (Nyt. Magaz. f. Naturv. LXXV, 1-32 1934).

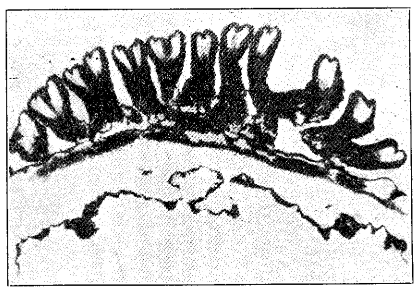




第 3 圖　*Omphalodiscus spodochroa* SCHOL. ノ子器ノ外觀（×20）ト縱斷檢鏡圖（×25）。外觀ハ一見スルト渦卷狀ノヤウニ見エルガ縱斷面ヲ見ルト次ノ *Gyrophora* 屬ノ渦卷狀ノ子器トハ全ク異ツタ構造ヲモツモノデアルコトガ判ル。　（SCHOLANDER ノ論文ヨリ轉寫）

則ナ線狀ノ隆起ガアリ、縱斷面ヲ鏡檢スルト中軸狀ノ柱狀ノ特別ナ組織ガ見ラレル。コノ型ハ明ニ前ノ *Umbilicaria* 屬ノ子器ノ變形シタモノデアツテ、確ニ違フコトハ違フガ、コレダケデ屬ヲ區別スルノハドウカト思フ。シカモコノ屬ニハ暗褐色ノ石垣狀多室ノ胞子ヲ生ズル *Umbilicaria formosana* FREY ガ含マレテヰルト同時ニ、胞子ハ無色デ 1 室ナ *Gyrophora spodocroa* ACH. ガ含マレ、從來第一義的ニ重要視サレタ胞子ノ形質ガ全ク無視サレルコトニナルノデ、我々トシテハ贊成シカネル。然シ、コンナ組織ノアルコトヲ我々ニ知ラセテクレタコトニツイテハ深ク感謝スル。





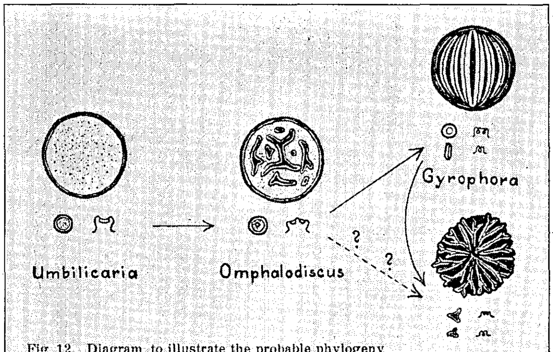
第 4 圖　左ハ *Actinogyra Mühlenbergii* SCHOL. ノ子器（×20）デ、渦卷狀ヲ呈スル樣ニ見エルガ、緣ガナク放射狀デアル。右ハ *A. polyrrhiza* SCHOL. ノ子器縱斷檢鏡圖（×29）。　（SCHOLANDER ノ論文ヨリ轉寫）

c. *Gyrophora* (ACH.) emend SCHOL. ＝子器ハ渦卷狀ヲ呈スルモノヲスベテコノ屬ニ入レテヰル。從來ノ *Gyrophora* 屬ノ大部分ノモノト *Gyrophoropsis* ニ屬スルモノ即チ *Umbilicaria* 屬ノ一部ガハイツテクルノデ此處デモ胞子ノ形質ハ全ク無視サレテヰル。

d. *Actinogyra* SCHOL. ＝コノ屬ノ地衣ノ子器ノ盤ハ一見スルト渦卷狀ヲ呈スル *Gyro-*

phora 屬ノモノト同一トシテ見逃ス樣ナモノデアルガ、周圍ガ他ノ三ツノ型ノヤウニ完全ナ縁デ圍マレズニ、中央カラ放射狀ニ伸ビタ渦ガ分枝シテ互ニ押合ツテヰルダケデアル。コノ型ハ今マデノ地衣學者ガ全ク氣ヅカズニ居タモノデ、SCHOLANDER ノ研究ニヨツテ始メテ教ヘラレタコトデアル。然シナガラ果シテコレヲ *Gyrophora* 屬カラ區別シテ別ノ屬ニマデアゲル價値ガアルダラウカ。殊ニソノ内部ノ構造ヲ見レバ本質的ニハ全ク同樣ノモノデ、コレデ二ツノ屬ニ區別スルノハ可成ニ無理デアルト思フ。

ナホ SCHOLANDER ハ第5圖ノヤウナ模式圖ヲ揭ゲテ以上ノ四ツノ型ノ關係ヲ圖示シテヰル。



第5圖 SCHOLANDER ノ新シイ四ツノ特徴トナル子器ノ構造ノ類縁關係ヲ示ス模式圖（SCHOLANDER ノ論文ヨリ轉寫、縮小）

要スルニ SCHOLANDER ノ說ハ子器ノ構造ヲアマリニ重視シテ、地衣類ノ分類ニ最モ大切ナ胞子ノ形質ヲ全ク無視シタモノデ、ソノ體系ハ採用スルコトガ出來ナイ。然シナガラいはたけ科地衣ノ子器ノ發生ノ經過、外觀ト內部構造トノ關係等ニツイテ幾多ノ新知見ヲ齎シタ功績ハ感謝サルベキデアラウ。

5. Frey ノ分類法

FREY ハ前後數回ニ亘ツテ意見ヲ發表シテヰルガ、7-11) 要スルニいはたけ科地衣ハソノ地衣體ノ構造モ、地理的ナ分布モ全ク同樣デアリ、子器ノ盤ガ或ハ渦ヲ卷キ或ハ平滑デアルト云ツテモ、ソノ間ニ多少ノ中間型ガ存在スルシ、又、胞子ガアルモノデハ無色・單室デアルガ或ルモノハ石垣狀多室・暗褐色ト云フガ、胞子ハ中々出來ニクヒモノモアルシ、又若イモノデハ老成シテ石垣狀トナルベキモノデモ無色デ1—2室ノモノナドガ出テクルコトガアルカラ、結局、いはたけ科ハタヾ一ツ *Umbilicaria* 屬ニマトメテ、一科一屬ニシテ了ツテ、ソノ中ニ *Gyrophora*, *Gyrophoropsis*, *Lasallia* ノ三ツノ亞屬ヲ作ツテ配列スルノガ最モ妥

7) FREY, E : Beiträge zur Biologie, Morphologie und Systematik der Umbilicariaceen (Hedwigia LXIX. 219-252, 1929).

8) FREY, E.: Weitere Beiträge zur Kenntis der Umbilicariaceen (Hedwigia LXXI, 94-119, 1931).

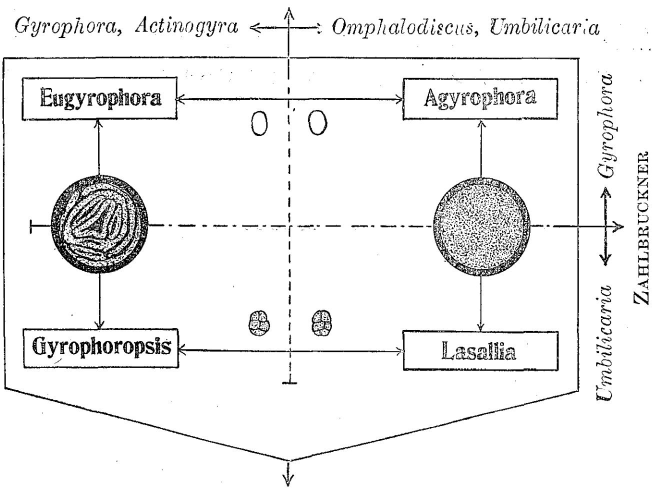
9) FREY, E.: Umbilicariaceae (RABENHORSTS, Kryptog.-Fl. IX, 4 Abt., 203-407, 1933)

10) FREY, E.: Vorarbeiten zu einer Monographie der Umbilicariaceen (Ber. Schweiz. Bot. Ges. XLV, 198-230, 1936).

11) FREY, E.: Die geographische Verbreitung der Umbilicariaceen und einiger alpiner Flechten (Ber. Schweiz. Bot. Ges. XLVI, 412-444, 1926).

當デアルト云フノデアル。

Frey ノ說ハ要スルニ屬ト云フモノヲ大キク見ルカ細カニ考ヘルカノ違ヒデ在來ノ體系ヲ一段下ゲタダケノコトニナルガ、タダソレデハ一ツノ屬ニ胞子ガ單室デ無色ナモノト、暗褐色デ石垣狀多室ノモノト一緖ニナツテキルノデ非常ニ都合ガ惡イ。更ニ中間型ガアルト云ツテモ、老熟シタモノヲ比較シナイデ、相當立派ニ子器ノ外觀ガ出來上ツテモマダ中ノ胞子ハ往々幼弱デ見誤ル恐レガアルカラト云フヤウナ鑑別ノ實際上ノ技術的ナ難易ヲ理由ニ分類ノ體系ヲ左右スルノハ、一寸我田引水ノ傾キガアル。



第 6 圖　諸學者ノいはたけ科地衣ノ分類樣式ヲ示ス一覽表　（筆者考案）
胞子ノ性質ダケヲ取レバ *Eugyrophora* ト *Agyrophora*, *Gyrophoropsis* ト *Lasallia* トガ類似シ、子器ノ構造カラ云ヘバ *Gyrophoropsis* ト *Eugyrophora* ガ *Agyrophora* ト *Lasallia* トノ組ニ對抗スル。ソノ關係ノ組合セニヨツテ Zahlbruckner, Frey, Scholander ノ三者ノ說ガ出來ル。

6. 筆者ノ分類法

Frey ノ說ガデテカラ、Zahlbruckner ハ Catalogus Lichenum Universarum ノ第七卷デ無條件ニソノ說ヲ採用シテ學名ノ組合セヲ變更シテキルガ、寧ロ Zahlbruckner ノ古イ獨自ノ樣式ノ方ガ遙ニヨイモノト思フ。私ハ Zahlbruckner ノ樣式ソノモノデモツマリ我慢出來ル。然シ Scholander ノ云フヤウニ子器ノ構造ト云フコトモ亦地衣類ノ分類上非常ニ重要ナルモノデ、屢々ソノ差違ニヨツテ屬ガ分ケラレテキルノデアルカラ、此處デモ十分ニ評價シナケレバナラナイ。從來ハ子器ガ渦卷狀ヲ呈スルトカ、呈シナイトカ云ツテ外觀上カラバカリ論ジタカラ中間型ガ問題ニナツタガ、外觀ハ第二トシテソノ縱斷面ヲ檢鏡スレバ所謂 *Umbilicaria* 型ト *Gyrophora* 型トハ明瞭ニ對立スルコトニナル。ソシテ Scholander ノ云フ *Omphalodiscus* ハ當然 *Umbilicaria* 型ニ、*Actinogyra* ハ *Gy-*

rophora 型ニ包含サレル。

ソコデ私ハ胞子ノ形質ト子器ノ構造トヲ重視シテ、次ノヤウナ四ツノ屬ニスルノガ妥當ナモノデアラウト思フ。

1. **Gyrophora** ACHARIUS, Method. Lich., p. 100 (1803), pr p.
2. **Agyrophora** NYLANDER in Flora LXI, p. 247 (1862).
3. **Umbilicaria** ACHARIUS in Kgl. Vetensk-Akad. Nya Handl. XV, p. 255 (1794), pr. p.
4. **Gyrophropsis** ELENK. et SAV. in Trav. Mus. Acad. St.-Pétersbourg VIII, p. 28 (1911)

以上ノ各屬ハスベテ先人ニヨツテ記載サレタモノデ、新シイ研究ヲ基礎トシテ筆者ガ體裁ヨク並ベタダケノコトデ大シテ新機軸ヲ出シタワケデハナイ。 (佐藤正己)